

アルツハイマー型認知症、新薬は誕生するのか

Point



新薬の期待が大きい
アルツハイマー型認知症

研究開発が困難な
治療薬

新薬誕生の
可能性

新薬の期待が大きい アルツハイマー型認知症とは

アルツハイマー型認知症は、脳が萎縮することで発症し、正常に働いていた脳の機能の低下、記憶や思考などの能力の低下といった症状があります。

発症の原因については完全には解明されておらず、2019年3月末時点で存在するアルツハイマー型認知症の治療薬は、発症した認知症の進行を遅らせるためのもので、発症しないようにするための根本的な治療薬はまだ存在していません。

そのため、アンメット・メディカル・ニーズ*の大きい医薬品として、各製薬会社はアルツハイマー型認知症の治療薬の開発にしのぎを削っています。

研究開発が困難な治療薬

しかし、発症するメカニズムの全容ははっきりとわかっていない、効果を判断するのが難しい(記憶や思考は、血圧や腫瘍の大きさのように数値で判断することができない)、治療薬が脳に届きにくい(血液脳関門という特殊な壁が脳に必須な物質だけを取り込み、治療薬を余計なものとして制御してしまう)などといった理由から、治療薬の研究開発は困難なものとなっています。

2019年に入って、ロシュと中外製薬が共同開発していた「クレネズマブ」や、バイオジェンとエーザイが共同開発していた「アデュカヌマブ」などの治療薬候補の治験中止が発表されました。

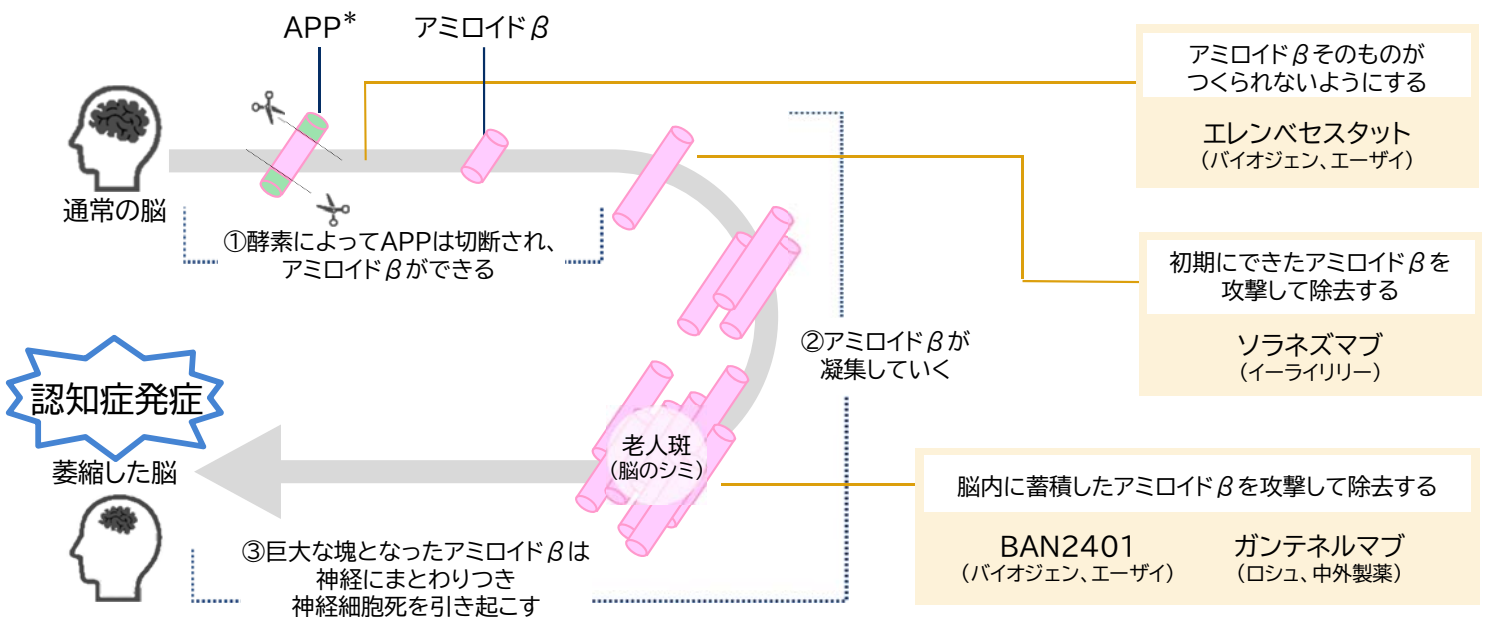
新薬誕生の可能性

「アデュカヌマブ」の研究開発中止を発表したバイオジェンとエーザイですが、別の治療薬候補である「BAN2401」と「エレンベセスタット」については研究開発継続を発表しました。

アルツハイマー型認知症の原因として考えられている仮説(アミロイド仮説)は、相次ぐ研究開発の失敗によって揺らぎ始めているとも言われ、研究開発は困難な状況となっているものの、各社はさまざまなアプローチで研究開発を進めています。今なお、約100種類ほどの新薬候補の臨床試験が行われており、新薬の誕生が待たれています。

*アンメット・メディカル・ニーズとは、まだ有効な治療法がない疾患に対する、患者や医師による強い要望

アルツハイマー型認知症発症のイメージ図(アミロイド仮説)と 新薬候補(一例)



*APP(アミロイドβ前駆体タンパク質)・・・普段は神経の成長や修復に関わる

(出所)各種報道、企業HP等を基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

・上記のイラストはイメージ図であり、全てを網羅するものではありません。

※【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

【本資料に関するご注意事項等】

投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用

購入時(換金時)手数料・・・上限 3.24%(税込)

※一部のファンドについては、購入時(換金時)手数料額(上限 37,800円(税込))を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年率3.348%(税込)

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他の費用・手数料・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

《ご注意》

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

■本資料は、ヘルスケア関連の情報をご提供するために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

本資料の作成は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会